

学校教育目標	「自ら挨拶」「自ら判断」「自ら行動」 人とのつながりを大切にする思いやりある西本中生				
	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び続け、自分の生き方を切りひらく力をたかめます (知) ・互いに生き方を尊重し、多くの人とふれあうなか、礼儀と規律を大切にします。(徳) ・自他の命を尊び、たくましい心体をつくります。 (体) ・まちや社会の中で、共に認め合い、協働し貢献する姿勢を育みます。 (公・開) 				
学校概要	創立 44 周年	学校長 廣淵 徹志	副校長 青木 美穂	3 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 2
	児童生徒数: 420 人 主な関係校: 笠間小学校・西本郷小学校・小菅ヶ谷小学校・本郷台小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	西本郷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
言語能力・コミュニケーション力 協働して課題解決する力 持続可能な社会を生き、貢献する力	西本郷中 西本郷小 笠間小	コミュニケーション能力を高め、主体的に「まち」で生きる子ども ・授業研究等を実施し、各教科・領域で「9年間で育てる子ども像」を見直し、指導内容・指導方法を推進する。 ・コミュニケーションの大切さを理解させ、学校、家庭、地域での挨拶運動を推進する。 ・生徒会による中学校説明会や部活動体験等、積極的な児童・生徒交流を実施する。

中期取組目標	○全教職員で同じベクトルの下、未来を切り拓く生徒の育成に取り組めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導を充実させるとともに、生徒が主体的・対話的で深い学びに向けた授業を目指す。 ・「だれもが、安心して、豊かに」を意識し、自尊感情・自己肯定感を高め、互いの違いを認め合う人間尊重の精神を育てる。 ・心と体を一体としてとらえ、学校生活や生涯を通して積極的に運動に親しむ資質や能力を育てる。 ・主体的な「挨拶・判断・行動」ができ、社会の一員としての自覚と責任を高めるとともに郷土愛を育てる。 ・小中一貫教育を推進するとともに地域や家庭、関係機関との連携を深め、地域に根付いた、開かれた学校を目指す。

重点取組分野	具体的取組
知 学習指導の充実	①生徒自ら学び続ける姿勢の育成を目指し、教科の特性を踏まえたカリキュラムを実施し、随時見直し改善を図る。 ②生徒が主体的、対話的な深い学びができるよう、教職員対象の研修や生徒による授業評価を通して授業改善に活用する。
徳 豊かな心	①委員会活動や部活動、たてわり活動を取り入れた学校行事を通して、異学年同士のつながりを生かした取組を展開する。 ②校外体験活動や地域行事への参画等、さまざまな人とのつながりを経験することによって自己有用感を育む取組を推進する。 ③「道徳」の授業や「人権週間」の取組を軸として、自尊感情を育成する。
体 健やかな体	①身体力テストの結果や保健体育の授業等を基に、生徒一人ひとりが自分の特性を知り、安全に活動できるための知識や技能を身に付けられるように努めるとともに一人ひとりが目標を設定し、体力の向上を図る。 ②生徒の運動機会確保の必要性について全職員で共有し、昼休み等を活用した取組を推進する。
公開 キャリア教育	①生徒及び教職員の地域活動への積極的な参加を図り、地域との連携を深める。 ②地域行事への参加を通して、地域の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる生徒を育てる。 ③職場体験学習、地域の人材や教育力またキャリアパスポートを活用し、子どもたちへの教育活動を充実させる。
いじめへの対応	①月2回のいじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行い、再発防止に努める。②生徒理解研修を含め、年2回のいじめ防止研修を実施し、全教職員のいじめに対する意識を高めるとともに、生徒アンケートや教育相談により些細な変化も見逃さない指導体制を構築する。
人材育成・ 組織運営(働き方)	①学年組織と管理職による研修や内外部の様々な校内研修を実施し、若手教職員の育成を図る。②校内授業研修や小中一貫ブロック授業研等、外部指導者を活用し、意図的、計画的に実施し、教師力の向上を目指す。③機能的かつ効果的な学校運営を目指し、組織や校務分掌の見直しとアウトソーシングの活用を行う。
生徒指導	①YPアセスメント等を活用し、生徒理解を深める研修を行うとともに相談活動を充実させ、生徒に寄り添った信頼関係の構築を図る。②保護者・地域・関係機関と連携するとともに職員間の報告・連絡・相談を密にし、問題の早期発見・対応に取り組む。
特別支援教育	①特別支援教育委員会で支援を要する生徒に関する理解を深め、支援・指導計画による適切な支援を行う。また、SCや外部関係機関と連携を図り、より適切な支援方法を探る。 ②UDやインクルーシブ教育等に関する研修を行い、職員の理解を深める。
地域連携	①学校だよりを毎月(年12回)発行し、積極的に学校の教育活動の様子を発信するとともに学校運営委員会で、地域と学校が中期学校経営方針等を共有し、「連携・協働」のパートナーシップを築いていく。②地域の一員としての自覚を持ち、区や連合等の行事や地域活動に積極的に貢献し、連携を深める。
ESDの推進	①ESD推進を学校全体で取り組む(ホールスクールアプローチ)。 ②教科・領域等の学習内容をSDGs17の目標で価値づけ、「持続可能な社会」の担い手育成を意識した学校運営、授業、地域との連携を図る。③生徒会活動等が身近な課題や社会課題の解決に向けた活動につなげる。